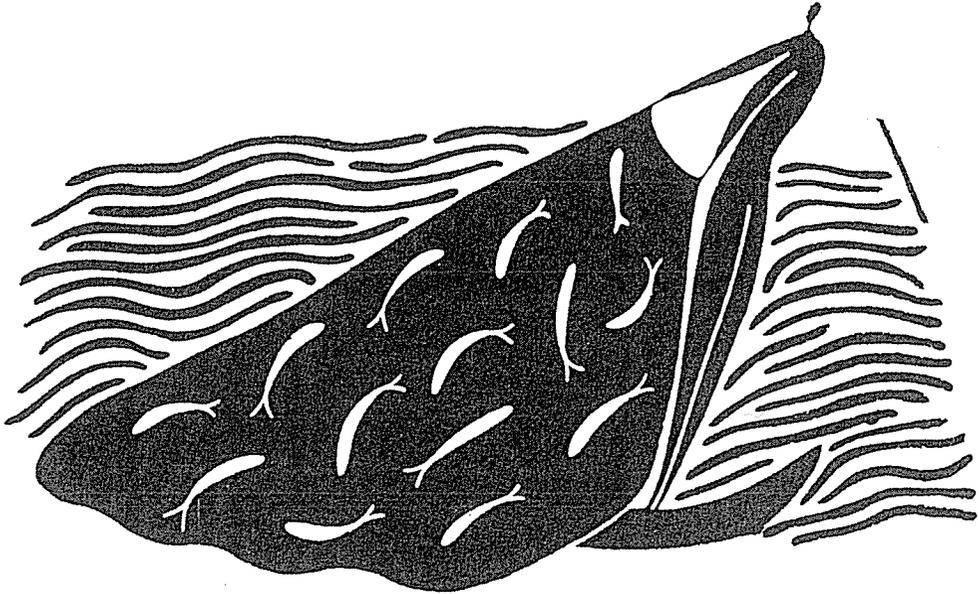


# 文書管理通信

No.3

1992年  
6-7月



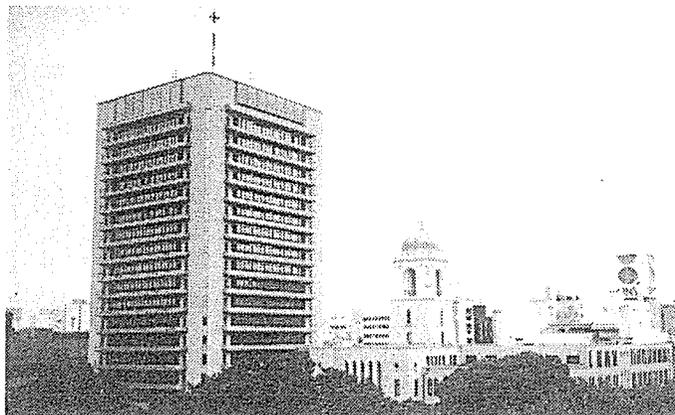
絵 望月通陽（『新・繪釋夷蘇府』より）

## 目次

<インフォメーションコーナー>.....	2
静岡市永年保存文書のマイクロ化	
<書評コーナー>.....	4
『OA時代のファイリング』	
(株)岡村製作所オフィス研究所（時事通信社）	
『ニューオフィス時代のファイリング —ボックスファイリングシステムの手法と実践—』	
コクヨオフィス研究所（ダイヤモンド社）	
<雑誌コーナー>.....	5
<新聞コーナー>.....	14
<受贈本>.....	15
<編集後記>.....	15

# インフォメーション

## 静岡市 永年保存文書のマイクロ化



静岡市役所(中央左：新庁舎・中央右：旧庁舎)

静岡市(天野進吾市長、人口47万)は、永年保存文書のマイクロフィルム化をスタートして、今年度で6年目をむかえます。同市では、以前より、市民課の除籍簿、営繕課の建築設計図面・設計書、納税課・資産税課のCOMなど各課においては一部マイクロフィルム化が手掛けられてきたものの、行政需要の拡大により文書量が急激に増加し、保管スペースの不足・執務環境の悪化を招き、マイクロフィルムシステムの導入が検討されてきました。そして昭和61年の新庁舎移転を契機に、文書量の調査、マイクロフィルム先進都市の視察等を重ね、マイクロフィルム文書取扱規定の設定の後、庁舎移転とともに本格的に永年保存文書のマイクロフィルム化が始まりました。

新庁舎の10階にマイクロフィルム撮影室を設け、平床式16mmカメラを設置して、専門委託業者が、カートリッジ方式で撮影しています。マイクロフィルム化対象文書は永年保存文書とし、毎年、各課保管の文書(活用文書)の中からマイクロ化対象文書リストを提出させ、総務課保存の引継文書(保存文書)と併せてマイクロ化しています。特に活用文書については、事前にマイクロフィルムでの検索利用が効果的にでき

るよう撮影方法や検索リストの作成方法等を、文書係と各課担当者との十分な打ち合せの上、マイクロフィルム撮影をし、マイクロフィルム索引簿も同時に作成しています。既に、マイクロフィルムは、リール本数にして約2,000本に上り、庁内の各課はもとより歴史的価値のある文書などは歴史研究者などにも広く利用されています。また撮影文書は簿冊単位(または件名単位)でパソコンに入力され、文書データは、既に約30,000件に及び、マイクロ索引簿として利用されています。このようにマイクロ化することによってスペースの大幅な削減はもとより、文書情報の活性化に大きな効果を発揮しています。

また同市では形骸化してしまった文書分類コードの見直しをしながら、だれにでも簡単に操作できる電算機による全庁的な文書登録システムを構築し、さらにはマイクロフィルム化文書も含めたすべての保存文書を管理掌握できるシステムの構築をも目指しています。

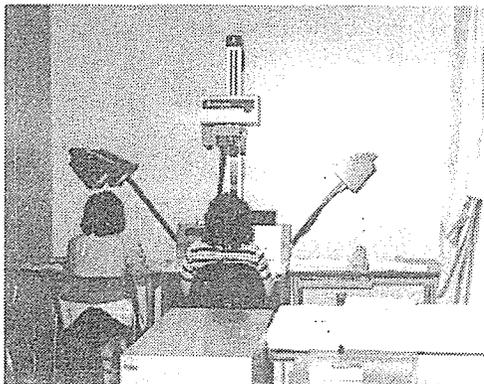
このように、第1次7ヶ年計画でスタートしたマイクロフィルム化も、全庁的な文書管理システムのなかで機能させながら第2次計画へと移行の予定であります。

これまでにマイクロ化された主な文書

総務課に引き継がれていない主管課保管文書（活用文書）		
市 民 課	除籍簿、25年経過戸籍	RP2台
国民年金課	国民年金被保険者台帳	
情報管理課	静岡市統計書、統計台帳、統計月報	
人 事 課	身分関係書、退職者名簿等	
広 報 課	広報しずおか	
資 産 税 課	旧土地台帳、土地課税台帳	
納 税 課	口座振替納付届書	RP1台
農 政 課	農地利用計画変更申請書	
市街地整備課	住居表示新旧変更対照表、住居表示台帳	
土木管理課	官民境界確定申請書綴り	RP1台
営 繕 課	構造計算書、耐震診断書	RP1台
建築指導課	建築計画概要書	RP1台
消 防 本 部	消防年報	

総務課に引き継がれた永年保存文書（保存文書）		
総 務 課	議会議事録、会議録、他議会関係書等 私有財産関係書、市条例規則関係書 告示関係書 市施設建築関係書、学校関係書 教育委員会会議録 墓地等民生関係書	RP1台

(RP……リーダープリンター)



新庁舎内マイクロフィルム撮影風景

静岡市：人口……………474,794人  
世帯数……………153,540世帯  
面積……………1,145,96km<sup>2</sup>  
静岡市役所：部課数……………24部4所105課  
職員数……………4,586人  
(平成4年4月1日現在)

# 書評

## 『OA時代のファイリング』



(株)岡村製作所オフィス研究所  
(’87.2・四六判・224ページ・1236円)  
時事通信社  
〒100 東京都千代田区日比谷公園1-3  
TEL(03)3591-1111

- 序章  
第1章 本社でのファイリング・システム導入の歴史  
第2章 ARMSの基本コンセプト  
第3章 ARMSの本社での展開  
第4章 オフィスの効率化とファイリング・システム  
第5章 導入の手順  
第6章 導入・定着のための留意点  
第7章 ARMSコンピュータ・プログラム  
第8章 近未来ファイリング  
第9章 ファイリング・システムに関するQ&A

## 『ニューオフィス時代のファイリング』

—ボックスファイリングシステムの手法と実践—



コクヨオフィス研究所  
(’89.8・A5判・176ページ・1250円)  
ダイヤモンド社  
〒100 東京都千代田区霞が関1-4-2  
TEL(03)3504-6517

- 1章 オフィスは人間生活の場  
2章 ファイリングシステムがオフィスを変える  
3章 ファイリングシステムを構築する前に  
4章 ボックスファイリングシステムの導入とその手順  
5章 ボックスファイリングのためのサポートシステム  
6章 保存システムを確立するために  
7章 ファイリングシステムの維持と管理  
8章 OA機器とファイリングシステム  
9章 日本紙パルプ商事でのファイリングシステム導入事例

今回の書評コーナーでは、岡村製作所とコクヨという共にOA用品メーカーのオフィス研究所がそれぞれにファイリングシステムについてまとめた2冊の本を取り上げ、対談形式で書評を行う。

吉田「今回は、『ニューオフィス時代のファイリング』(以下、『ニューオフィス』とする)と『OA時代のファイリング』(以下『OA時代』とする)の2冊を取り上げるんだけど、各々特徴がはっきりしているね。対象は、民間オフィスだけれど内容的には官公庁でも充分参考にできるね。」

渡辺「『ニューオフィス』の方は、これまで一般的に行われてきたファイリングシステムにボックスファイリングの手法を提案し、その導入手順、電算によるサポートシステム、導入事例等が、わかりやすく述べられているね。だから、現在ボックスファイリングを採用しているところやこれから採用しようとしているところにとっては参考にできる点が多いんじゃないかな。」

(以下、吉田はY、渡辺はWとする。)

Y「『ニューオフィス』の方はシステムとしての新しい試みはさほど感じられないが、格好の実務者向けのガイドブックとはいえるね。」

W「『OA時代』の方も、導入手順、電算による管理

システム等が『ニューオフィス』同様細かく述べられているんだけど最大の違いはどこにあるのだろうか？」

Y「『OA時代』は、岡村製作所自身が生み出したシステムの基本コンセプトが述べられている。この点が大きな違いだな。ここでは、岡村製作所自身が失敗を繰り返しながら生み出した新しいシステム“ARMS”が提案されているね。この“ARMS”は、従来の枠にはめた分類法等にこだわらず、“シリーズ”という新たな分類概念を提案することで個人的なファイルの自由さとシステムとしての共通性の間でバランスをとろうとしている。簡単にファイルできることこそがシステムを維持するための最大の要因であると判断している点が新しいし評価できるね。」

W「しかし、それだけで将来的にも維持できるシステムを構築できるのか疑問も残るなあ？ 個人の自由なファイリングと他律的な規程とは必ず対立するんだよね。他律的な規程がなければシステムではありえないし個人の自由が全くなければ窮屈なシステムになって継続が難しい。この二律背反を“シリーズ”という、いってみればよりファジィな分類概念をもってすることで果たして克服できるんだろうか。」

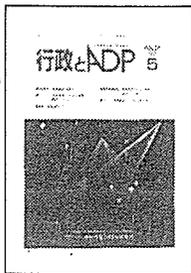
Y「この本が出版されて5年が経過しているわけだけれどこの間の実践の結果を知りたいね。」

# 雑 誌

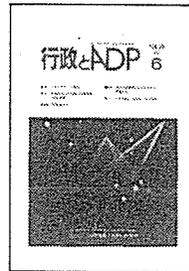
掲載目次のうち太字で書かれたものについては12ページに記事紹介を掲載してあります。

## 目次紹介

### 「行政とADP」 社団法人 行政情報システム研究所 TEL (03) 3438-1678



VOL. 28  
NO. 5  
1992年5月号  
(通刊327号)



VOL. 28  
NO. 6  
1992年6月号  
(通刊328号)

#### <随想>

●二都物語Ⅱ

#### <技術動向>

●機械翻訳の動向

#### <レポート>

●住民情報システムの最新動向について

#### <政治・経済を見つめて>

●バブルの後遺症はどこまで

●経済の目 (22)

#### <海外事例研究>

●米国カリフォルニア州の福祉システム

●都市に関する断章 (2)

#### <連載・情報と個人②>

●社会・情報そして個人 (2)

#### <とーく&topics>

●仮想体験の世界へ

#### <System's Eye>

●ブームに踊らされないために (2)

#### <パソコン活用講座 第14回>

●パソコンとフォント

●NEWSキャビネット

#### <資料>

●OA化の推進等による事務処理の近代化に関する基本方針

#### <随想>

●東欧からの研修生

#### <解説>

●グループウェアの動向

#### <報告>

●国の行政機関におけるOA化の推進状況

#### <政治・経済を見つめて>

●ジャパニーズ・ドリーム

●経済の目 (23)

#### <報告>

●特殊法人における個人情報保護対策の現状

#### <連載・情報と個人③>

●あらゆる自由は知る権利から (1)

●都市に関する断章 (3)

#### <とーく&topics>

●現代「結ぶ」考

●波瀾万丈 第1話

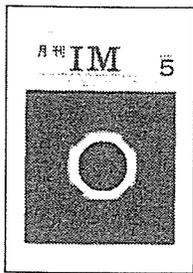
#### <System's Eye>

●ブームに踊らされないために (3)

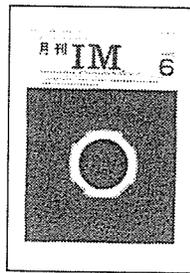
#### <パソコン活用講座 第15回>

●表計算ソフトの基礎

●NEWSキャビネット



1992—5月号  
第31刊第5号  
(通刊256号)



1992—6月号  
第31刊第6号  
(通刊257号)

<システム・アプリケーション>

●光ファイルをコンピュータによってコントロールする  
大規模ファイリングシステム 精密計器メーカー(株)トキ  
メックの事例

●セゾン生命保険(株)における光ファイルの活用について  
<感光材料の基礎講座>

●マイクロフィルムの管理と使用方法 [第3話] フィルム  
保管の実務

<ニュー I M>

●コンピュータ出力の新時代に対応し、ペーパーレスを  
推進する

FUJIX COM SYSTEM FMIP 9000

●新聞の収集と保存—千葉県立西部図書館—

<話題を追って>

●東京都のごみ問題にせまる

●マイクロ写真士(1級、2級)検定試験のあらまし

<通信員だより>

●1.九州から～通信員・拜崎孝則

「曲水の宴」に古代を偲ぶ

●2.東北から～通信員・加藤 司

東北大学附属図書館所蔵「狩野文庫」マイクロ化  
プロジェクトに参加して

●AIIM SHOW'92 と米国業界視察研修旅行

●随想 1872年の「マリア・ルス号」事件

●ニュース・アラカルト

●JMAセミナー委員会発足のお知らせ

●編集部からのお願い

●JMAニュース

●編集後記

<システム・アプリケーション>

●アマダニューファイリングシステムの構築について

<よみもの>

●光ディスクの現状と問題点

<感光材料の基礎講座>最終回

●マイクロフィルムの管理と使用方法 第4話

ユーザーにおけるフィルム保存の状況

<QandA>

●公文書マイクロフィルム化に関する規程等の審査につ  
いて(依頼)

<趣味と実益講座>2

●「マイクロ用語」八つ当たり

<ニュー I M>

●A1サイズ カラーインジェットプリンターKALEIDA

<特別寄稿>

●私のマイクロ写真事始め

<通信員だより>

●四国・清家春信 或る日の出来事

<随想>

●3年目に思うこと

●ニュース・アラカルト

●JAPAN IM SHOW'92開催説明会ひらく

●JMAニュース

●月刊 I M 広告あんない

●マイクロ写真士検定試験のあらましと実践セミナーの  
ご案内

●編集後記

—— ちょっとお時間いいですか? (「“中性紙” 使用顛末記」 part 1) ——

“中性紙” という言葉を耳にするようになってずいぶんになります。最近  
では本や雑誌の奥付に「中性紙使用」という文字を見かけることもめずら  
しくなくなりました。

本誌も「“文書管理” をテーマにしている以上使用する紙にも配慮があ  
って当然である」ということで、第2号では本誌に使用する紙の選択に取り掛  
かりました。条件は二つ。第一に「中性紙であること」、第二に「創刊号で  
使用した紙に近い色、質感であること」です。 (Part 2 に続く)



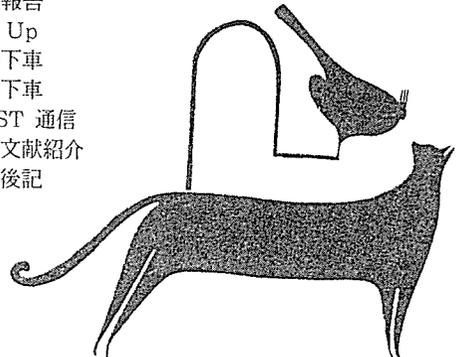
VOL. 35  
NO. 1  
Apr. 1992



VOL. 35  
NO. 2  
May. 1992

- 巻頭言：情報環境の調和を
- 追悼：中井浩さんへの追悼の言葉
- 対談：我が国の科学技術政策と今後の課題 - 科学技術会議第18号答申をめぐって -
- 実用化レベルに達した米国のデータベース概念検索
- フジサワ製品学術文献情報システム - Product File System -
- 講座：新・情報管理入門（第1回） 概論 何のための情報管理か
- 情報整理術：やってみよう！ 手作りの情報化
- 図書紹介
- Pin Up
- 途中下車
- 途中下車
- JICST 通信
- 海外通信
- 海外文献紹介
- 編集後記

- 講演：環境と情報 - 科学的風景への道 -
- BRITISH LIBRARYの出版活動
- 倫理規範に向かって：記録管理の社会へのかかわりとプロフェッショナル化
- 講座：新・情報管理入門（第2回） 管理1 一次情報の収集・整理・保管・廃棄
- ぶろむな一ど：社史をめぐるアレコレ その1 図書館と社史
- 情報整理術：やってみよう！ 手作りの情報化 2
- 図書紹介
- 集会報告
- Pin Up
- 途中下車
- 途中下車
- JICST 通信
- 海外文献紹介
- 編集後記



— ちょっとお時間いいですか？（「中性紙」使用顛末記」Part 2）—

紙のサンプルから本誌に使用するための二つの条件を満たす紙を選び、念のためにその紙をつくっている工場に中性紙かどうかを確認しましたところ、返ってきた答えは「<sup>ちゅうせいずきようし</sup>中性抄用紙」。"中性紙"と"中性抄用紙"？ 伺ったところによると「メーカーによって呼び方が違うだけで実質的には同じもの」とのことでした。工場から出荷されされる時点で中性であっても、保存環境によっては中性紙 pH（ペーハー）は、どんどん酸性に近づいていきます。時には、中性紙としてつくられながら中性でなくなってしまうものもあり、トラブルの原因になることもあるようです。そんなトラブルをさけるために「抄いたときは中性です」あるいは「中性として抄きました」という意味を言外に含めて"中性抄用紙"という呼び方をしているメーカーもある、ということでしたが……。

（Part 3 に続く）



VOL. 33  
1992  
NO. 4



VOL. 33  
1992  
NO. 5

<情報数学と情報理論>

- 形式的設計検証のための分岐時間正則時相論理
- 連想メモリによるメモリ型並列計算モデルの計算能力
- ノイマン問題を拘束条件とする領域最適化問題におけるポテンシャル法の利点と欠点

<数値計算>

- 数値等角写像における代用電荷法と積分方程式法の比較
- OSCAR上でのスパース行列直接解法の並列処理

<自然言語処理>

- 電話またはキーボードを介した対話に基づく対話データベースADDの構築
- 最小コストパス探索モデルの形態素解析に基づく日本文誤り検出の一方式

<知識表現>

- 記号間の力学に基づく概念マップ生成システム SPRINGS

<グラフィックス>

- 精密レンダリング法とそのハイライト生成への応用

<言語処理系>

- 複数の浮動小数点表現法を処理するシステム環境の設計と実現
- 分散制御システムのデバッグ手法：要求仕様を用いたイベントヒストリの検査
- 変数値エラーにおけるCritical Sliceに基づくバグ究明戦略
- Vocalog：語彙を用いたジェネリックな概念記述が可能な拡張論理型プログラミング言語

<ソフトウェア工学>

- 企業情報システムにおけるデータ中心手法導入の要件
- データベース>
- DB設計を支援する情報資源辞書システムの操作機能と実現法
- カラービデオ映像における自動索引付け法と物体探索法
- 様々なオフィス内の情報を統一的に扱うデータベースのモデル：ブリッジモデル

<設計技術>

- 論理式を分離加法形式で表現する一手法
- 論理回路のテスト生成のための3値ニューラルネットワークモデル

<ショートノート>

- 数値積分法による収束の遅い無限級数の数値計算

<最適化手法>

- 制約違反の十分条件を用いた組合せ制約充足/最適化
- 仮定に基づく組み合わせ最適化手法

<システムの解析と制御>

- ペトリネット表現された協調動作をするシステムの挙動解析と性能評価
- カートリッジ磁気テープライブラリの制御方式

<ファジィシステム>

- ファジィシステム構造行列の推移的結合

<人工知能>

- 事例からのルール抽出：RF2アルゴリズム
- ノイズを含む事例からのルール抽出：RF3アルゴリズム

<障害者補助>

- ALS患者のためのコミュニケーションエイドの文章作成方法について

<自然言語処理>

- 接続構造解析に基づく日本語複文の分割
- OCR入力された日本語文の誤り検出と自動訂正

<プログラム言語と処理系>

- 開放性を持つ複言語の構成手法
- C++言語のシステム向き拡張ツール：OPTEC

<ソフトウェアプロセス>

- 人工衛星チェックアウト・システムの基本設計プロセスのプロセス・モデルHFSPによる記述とその評価

<ソフトウェアの仕様記述>

- 入出力データの構造不一致検出解決法に関する実験

<数値計算>

- べき乗法による2次元デジタルフィルタの設計仕様行列の非負分解

- 部分変更行列のスツルム法による固有値解析

<ヒューマンファクタ>

- 打鍵データに基づく個人認証システムの評価と改良

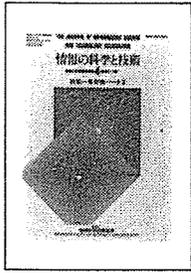
- X-Window上の利用者行動分析システム

<グラフィックス>

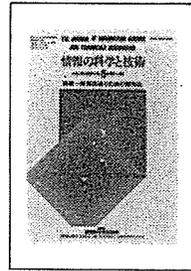
- 曲げ剛性を利用した頭髮のモデリング

<ショートノート>

- コード生成向きボタン照合における簡易な競合解消方法



VOL. 42  
1992  
NO. 4



VOL. 42  
1992  
NO. 5

特集＝著作権パート2－複写権と情報流通－

- 特集「著作権パート2－複写権と情報流通－」の編集にあたって
- 複写権の法的解釈
- 文献複写をめぐる最近の動向－大学図書館を中心に－
- 複写権センターの役割
- 日本複写権センターと産業界の対応
- 複写権－日本図書館協会はこう考える－
- 情報管理部門における複写
- 学協会著作権協議会への複写権委託について
- 投稿：データベース・ソフトを用いた新聞記事索引システムの設計－岡山県総合文化センターの経験をもとに－
- 連載：情報の探し方④ 社史
- 短期連載：情報史（第2回）
- OUG第55回研究会開催報告
- 1991年度データベース検索技術者認定試験 2級合格者名発表
- INFOSTA Forum
- ドクメンテーションの動き
- 書評・新刊紹介
- 文献紹介
- 協会だより
- 編集後記

特集＝情報流通のための標準化

- 特集「情報流通のための標準化」の編集にあたって
- 情報に関わる標準化活動の現状と課題
- 書誌記述に関わる標準化
- 逐次刊物の識別コード－biblidとSISACコード－
- 索引作成に関わる標準化
- 情報検索システムと標準化
- 図書館活動の評価に関わる標準化
- 資料の電子化
- 投稿：フォーマル・コミュニケーションに見られる間接情報伝達過程
- 連載：情報の探し方⑤ 官庁資料
- 短期連載：情報史（第3回）
- 1991年度データベース検索技術者認定試験 1級合格者名発表
- INFOSTA Forum
- ドクメンテーションの動き
- 書評・新刊案内
- 文献紹介
- 協会だより
- 編集後記

ちょっとお時間いいですか？（「中性紙」使用顛末記」Part 3）

“中性紙”に関してはまだまだ知られていないことが多いように思えます。

例えば……

- ①中性紙と酸性紙を区別する基準は何か？
- ②中性紙は永久に保存に耐えられるのか？
- ③中性紙であればすべて同じか（中性紙に種類はあるのか）？
- ④和紙は中性紙なのか？

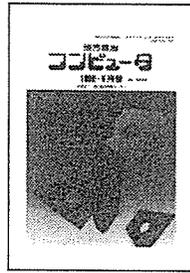
“中性紙”に対する需要は高まる一方です。にもかかわらず、“中性紙”そのものに関する情報は意外に少なく、一般にはあまり知られていないのが現状です。できるだけ早い機会に“中性紙”に関するまとまった情報をご提供させていただきたいと考えています。

（終）

# 「地方自治コンピュータ」 財団法人 地方自治情報センター TEL (03) 3261-8921



1992—4月号  
VOL. 22  
NO. 4



1992—5月号  
VOL. 22  
NO. 5

## <随想>

● 県政と高度情報化社会

### <特集/地域カード>

- 地方公共団体における地域カードの活用分野と現状
- 出雲市総合福祉カードシステム
- 五色町保健・医療・福祉ICカードシステムについて
- 民間におけるICカードの活用
- 民間と公共との新しい接点の創造媒体へ

### <地域情報化レポート>

- 広島県における福祉活動支援システムの現状と課題  
— 民生行政情報データベースの構築に向けて —

### <トピックス>

- パソコンLANによる行政システムについて
- 上伊那地域広域市町村圏の健康管理システム

### <時の動き>

- 東京・台東区など4自治体が運用
- 住民票の写しを自動交付土曜閉庁で急速に普及

### <今日は！>

- 甲府市電算担当です
- 別府市企画調整課です

### <健康情報>

- 老人と骨折

### <まとりくす>

- 清潔

### <情報管理室からのお知らせ>

### <地方自治情報センターからのお知らせ>

- 入会の御案内
- 教育研修について
- 「地方自治情報センター平成3年度研究開発成果説明会」の開催について
- NIPPON-Net からののお知らせ
- OAプラザの御案内
- OAライブラリ提供の御案内
- システムライブラリ登録状況について

### <編集後記>

## <随想>

● 情報がいきづく、北のネットワークが広がる

### <特集/要員管理>

- 地方公共団体における情報処理システム要員の現状と課題

● 要員養成のあり方と情報処理研修の考え方

● 愛知県におけるOA化のための要員養成について

● 台東区におけるOA化推進に係る要員管理について

### <地域情報化レポート>

- 地方公共団体における地域情報化施策に関する調査結果の概要

### <今日は！>

- 浜松市情報管理課です
- 島原地域広域市町村圏組合電算課です

### <健康情報>

● 慢性疲労症候群について

### <まとりくす>

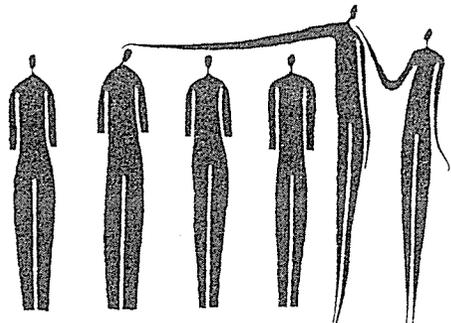
● 食事

### <情報管理官室からのお知らせ>

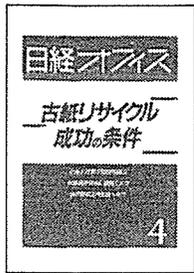
### <地方自治情報センターからのお知らせ>

- 入会の御案内
- 教育研修について
- 「地方自治情報センター平成3年度研究開発成果説明会」の開催について
- NIPPON-Netからののお知らせ
- OAプラザの御案内
- OAライブラリ提供の御案内
- 人事異動について
- 土曜休業のお知らせ

### <編集後記>



1992年4月10日号



- 特集 古紙リサイクル, 成功の条件  
第1部 官は徹底指導, 民は損得勘定抜き  
第2部 リサイクルを完結させる6カ条  
第3部 効率化目指し技術開発が進む

1992年5月10日号



- 特集 仕事をはかどる会議室を作る  
第1部 会議室不足にミドルの6割が不満感  
第2部 適正スペース割り出し運用を工夫  
第3部 目的に合わせ内装・設備整える

<OFFICE FOCUS>

●ハイテク企業が郡集, 幕張にそびえるツインタワー  
ワールドビジネスガーデン

<レポート>

- OA 小規模LANをパッケージ製品で構築  
●リニューアル スペース拡張を機に, 社内コミュニケーション改善  
●ファイリング 2つの収納方式を併用, あえて統一しなかった  
●サービス エレベーター保守, 24時間遠隔監視が普及へ

<テナントのオフィス採点> 金沢市

<マネジメント>

- 法務相談 駐車場の契約更新を拒否された  
●賃貸料 全国主要都市サーベイ

<調査>

●G3普通紙ファクシミリ: 紙が変色せず, 保存のしやすさが売り物

<私とオフィス>

<ポイント・シリーズ>

<インタビュー>

●縄船友市氏/日新火災海上保険社長

<海外情報>

●週単位管理で工期, 予算を計画通りに収めたーグラクソ米国本部

●適切なデスク, チェア選び, 末端操作の疲労を軽減

<NEWS>

- FM推進連絡協議会, 資格具体化に向け5部会設置  
●NOPAの平成4年度事業計画固まる  
●大型オフィス・ビル, 大手町ファーストスクエア完成  
●大林組がキャンピングカーをベースに移動オフィスを開発  
●内田洋行, CAFMソフト発売に合わせFM推進室を設置

<新製品>

<NEWSパック>

<メールボックス>

<カレンダー>

<トークルーム>

<OFFICE FOCUS>

●ギャラリー, レストランを併設, 地元で親しんでもらう  
ミズノ大阪本社(大阪・南区)

<レポート>

- OA 社員の居場所すぐ分かる, 位置確認システム導入  
●ニュースペース ソフト開発の環境整備, 打ち合わせの場を充実  
●ファイリング 事業拡大に備え先行導入, 書類探しの時間短縮

<テナントのオフィス採点> 神奈川県川崎市

<マネジメント>

●我が社のオフィス・コスト管理 配線システムを一新, 情報基盤整備ー三菱化成

●法務相談 賃貸契約における「保証人」の義務

●賃貸料 首都圏主要都市サーベイ

<調査>

●香り発生装置: オフィスに好みの香り, 鎮静・興奮作用も

<私とオフィス>

<ポイント・シリーズ>

<インタビュー>

●花谷立身氏/生駒商事社長

<海外情報>

●床下空調など最新技術でフレキシブルな空間を作る

●米国で障害者法が施行, 施設の整備を義務付け

<NEWS>

●遅れるファシリティ・マネジャー資格化, 試験実施は93年半ばか

●大阪でオフィス市場冷え込み空室率が急上昇

●研究から実践段階へ, 日本サテライトオフィス協会の新事業計画

●三洋電気のマーケティング・プラザビルが完成

●JFMAとデルファイ研究所, MIT-FMスクールを継続

●厚生省認定の企業内保育所が全国4カ所でスタート

<新製品>

<NEWSパック>

<メールボックス>

<カレンダー>

<トークルーム>

**NEWSキャビネット とびっくす 「行革審が文書用紙サイズの見直しを検討」**

臨時行政改革推進審議会（第三次行革審）の「世界の中の日本部会」で3月15日に、行政機関の文書用紙サイズの問題が取り上げられ、A判、B判の統一化について検討が加えられることになった。

（「行政とADP」5月号）

**「OA化の推進等による事務処理の近代化に関する基本方針」**

平成3年6月27日付けで行政情報システム各省庁連絡会議において了承された上記タイトルの方針が2ページにわたって掲載されている。

（「行政とADP」5月号）

**「国の行政機関におけるOA化の推進状況」**

総務庁行政管理局 行政情報システム企画課

総務庁行政管理局が平成3年度に行なった実態調査をもとに①OA機器の設置・導入状況、②各省庁から回答のあった、OA化推進上の課題・問題点が紹介されている。

（「行政とADP」6月号）

**「光ファイルをコンピュータによってコントロールする大規模ファイリングシステム**

**精密計器メーカ(株)トキメックの事例」**

(株)トキメック 技術推進部次長 十枝内克憲

(株)トキメックが自社用に完成させた「技術情報システム」の紹介である。このシステムは、将来のCIM化を意識した上で光ファイリング装置とコンピュータを組み合わせ、文書や図面のデータベースが構築されている。

（「月刊IM」5月号）

**「セゾン生命保険(株)における光ファイルの活用について」**

セゾン生命保険会社 システム部次長 菊地敏夫

保険部門で導入した光ファイルによるファイリングシステムの紹介である。システム導入以前の問題点、システムの評価等について述べられている。

（「月刊IM」5月号）

**「マイクロフィルムの管理と使用法」 第3話 フィルム保存の実務**

富士写真フィルム(株)足柄研究所部長部員 岩野治彦

本年1月に開始された連載（3月、4月は休載）の第3話である。第1話（1月号）と第2話（2月号）で述べられた保存環境によるマイクロフィルムのベースの劣化、その原因、防止の指針と保存方法の要点が更に具体的に述べられている。

（「月刊IM」5月号）

**「東京都のごみ問題にせまる」 東京都清掃局ごみ問題緊急対策室 坂井裕氏に聞く**

東京都の紙ごみの問題に関するインタビュー形式の記事である。再製紙、ペーパーレスについてもふれられている。

（「月刊IM」5月号）

**「アマダニューファイリングシステムの構築について」**

株式会社アマダ総務部庶務課庶務係 清水経朗

平成2年12月のオフィス移転をきっかけに大幅なレスペーパー化をスタートさせ、平成3年9月の時点で約900万枚の削減を実現させた株式会社アマダの推進事務局の立場から運動の経緯とその成果について紹介されている。

（「月刊IM」6月号）

### 「光ディスクの現状と問題点」

ケー・アイ・ピー イメージインテグレーション株式会社 仲田博昭

光ディスクがもっている現状の問題点とユーザー側から見た将来への希望について、以下の順に述べられている。

1.はじめに／2.一般的なファイリングの現状とその問題点／3.マイクログラフィックスの利用と問題点／4.光ディスクの出現とユーザーの注目／5.なぜ光ディスクによるファイリングシステムが市場を占有できなかったか／6.マイクログラフィックスの技術向上による見直し／7.問題の発生源はユーザーにある  
(「月刊IM」6月号)

### 「マイクロフィルムの管理と使用法」 第4話 ユーザーにおけるフィルム保存の状況

富士フィルム(株)情報システム部図書館グループ 野中治

同技術課長 植田博之

本年1月から開始された連載の4回目である。この最終回では、マイクロフィルムのセルロースアセテートに問題が発生した場合にユーザーサイドで出来る対処の方法、予防法が事例をあげて述べられている。  
(「月刊IM」6月号)

### 「『QandA』 公文書のマイクロフィルム化に関する規程等の審査について(依頼)」

上田市長 永野裕貞

上田市で計画している公文書のマイクロフィルム化に関する文書取扱規程案及び文書取扱要領案の社団法人日本マイクロ写真協会に対する審査依頼である。また、協会からの解答も掲載されている。

(「月刊IM」6月号)

### 「新・情報管理入門 (第1回) 概論 何のための情報管理か」

日本経済新聞社データバンク局局次長兼記事情報部長 神尾達夫

今後12回にわたって連載される平成4年度連載講座の第1回目である。企業の情報管理者が社内の情報流通の要として機能するためには何をなすべきかが述べられている。  
(「情報管理」4月号)

### 「新・情報管理入門 (第2回) 管理1 一次情報の収集・整理・保管・廃棄」

図書館情報大学 石井敬豊

収集、整理、保管、廃棄の各業務の構成、流れ、要点についてまとめられている。

(「情報管理」5月号)

### 「パソコンLANによる行政システムについて」

逗子市都市政策室情報政策課長 佐藤明夫

パソコンの導入から全課のネットワーク化にまで携わった行政課長による逗子市の情報システムとそのコンセプトの紹介である。  
(「地方自治コンピュータ」4月号)

### 「浜松市情報管理課です」

浜松市企画部情報管理課長 鈴木茂夫

昭和41年からコンピュータを導入し、現在、第2次OA化基本計画を推進している浜松市情報管理課の紹介である。  
(「地方自治コンピュータ」5月号)

# 新聞

ファイリングまたは情報公開に関する記事の見出しを掲載しました。太字のものは本ページ下に抄録を掲載してあります。

発刊日	新聞名	記事内容
H.4. 3.27	日経産業新聞	米3M社 光ディスク永久保証、故障したら無料で修理
H.4. 3.27	日経産業新聞	次世代写真技術で日米協力 コダック、フジ、キャノン、ミノルタ、ニコン、銀塩フィルムでの技術革新
H.4. 4. 3	日経産業新聞	東芝 神経回路網の新方式で手書き文字も理解
H.4. 4. 5	静岡新聞(朝)	静岡市お役所言葉見直し 手引書を各課配布 事例挙げ改善訴え
H.4. 4.10	日経産業新聞	日立グループ オフィス環境事業提案から施工一括
H.4. 4.10	自治日報	産廃処理場設置で宮城県は 情報公開条例に基づき届け出書など公開
H.4. 4.15	日経産業新聞	日電が「逆起型」の神経回路網 2段階で手書き文字判読正解率99.4%OCRで実用化
H.4. 5. 2	静岡新聞(朝)	公文書や歴史的の文書を 静岡県が委員会を発足 収集や保存方法検討
H.4. 5. 8	日経産業新聞	富士フィルム、九州松下電気 小型ファイル装置開発 3.5ichディスクを利用
H.4. 5.12	日経産業新聞	光ディスク容量3倍に 日立が記録技術熱制御に成功
H.4. 5.15	自治日報	国土庁 土地情報の管理で自治体調査 一元管理「必要あり」8割
H.4. 5.15	自治日報	国土庁 地籍調査推進でビデオ 住民説明会で活用
H.4. 5.15	自治日報	連載 地方自治体の新しい文書管理技法 OA時代のやさしいファイリングシステム<1>
H.4. 5.18	日経産業新聞	東芝 光ファイルにUNIX採用 12ichディスク1枚にA4で24万枚
H.4. 5.22	自治日報	連載 地方自治体の新しい文書管理技法 OA時代のやさしいファイリングシステム<2>
H.4. 5.22	自治日報	(財)地方自治情報センター 住民票自動交付で報告
H.4. 5.22	自治日報	行革審世界部会が報告 行政文書の用紙規格をB判系列からA判系列へ
H.4. 5.28	日経産業新聞	NTTインテリジェント 文書検索、操作簡単に キーワード付け不要に
H.4. 5.29	自治日報	連載 地方自治体の新しい文書管理技法 OA時代のやさしいファイリングシステム<3>

対象新聞: 「静岡新聞」「日経産業新聞」「自治日報」「朝日新聞」「読売新聞」

対象期間: 1991. 12. 10~1992. 3. 31

「公文書や歴史的の文書を 静岡県が委員会を発足 収集や保存方法検討」

静岡県で保存している公文書は、マイクロフィルム化されたものも含めて、3,000万頁にも上り、また、県史編さん室が保存している資料も160万枚に上っている。そのため県では文書等保存活用検討委員会を発足させ、歴史的価値のある公文書や、県史編さん資料その他の歴史的な文書などの収集、保存、活用の在り方を調査検討する。活用については、情報公開などについても検討する。

検討委員会は、総務部文書課長、情報公開室長、企画調整部企画課長、県議会事務局調査課長兼図書室長、県教委総務課長、県教委文化課長、県史編さん室長、県立中央図書館長で構成される。

(静岡新聞 5月2日朝刊より)

## 受贈本 (編集室にお寄せ頂いた書籍)

### 『PHPビジネス選書 ビジネス文書のファイリング技術 —これが書類・資料の実践的管理ノウハウだ—』

中西勝彦 ('90.12・B 6判・190ページ・1150円)

PHP研究所 〒102 東京都千代田区三番町3番地10 TEL(03)3239-6221

- 第1章 ファイリングの基礎知識
- 第2章 ファイリング用具を使いこなす
- 第3章 実践・ファイリングのすすめ方
- 第4章 組織へのファイリングシステム導入法

### 『上司・得意先が感心するレポート・報告書がスラスラ書ける77文例集』

安田賀計 ('92.5・A 5判・205ページ・1400円)

かんき出版 〒102 東京都千代田区麴町4-4 TEL(03)3262-8011

プロローグ “書くこと” に対する苦手意識を取り払おう

PART.1 レポート・報告書をまとめる前に知っておきたい基礎知識

PART.2 レポート・報告書をスッキリまとめる14のポイント

PART.3 稟議書・伺書・決裁願

PART.4 重役・部長・部内議事録

PART.5 週報・月報・営業関係報告書

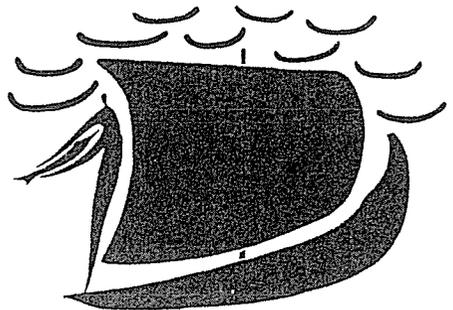
PART.6 国内外出張報告書

PART.7 各種・調査報告書

PART.8 教育・研修・説明関係報告書

PART.9 計画・定例・会議・検査・提案報告書

PART.10 労災・事故・クレーム報告書



## 編集後記

創刊号、第2号そして本号と本誌の構成の変化にとまどいを感じておられる方もいらっしゃると思います。現在、「どうしたら読みやすくなるのだろうか」とまだ試行錯誤の状態です。もうしばらくご容赦下さい。

現在、文書管理を考える上でどうしても紙そのものについて考えないわけにはいきません。中性紙、酸性紙の問題、ゴミとしての紙、そして再製紙の問題、と紙そのものだけをとって考えなければならぬ問題の多さに驚きます。

(益田 耿明)

もうすっかり夏ですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。当方は、次号の編集におわれて、相変わらず忙しい毎日を過ごし、夏休みの計画どころではありません。

さて、今回は、静岡市のマイクロ化事業の状況をご紹介いたしました。まだこれからの事業ですので、順次、PART2、PART3とご紹介していきたいと思っております。取材に協力していただきました静岡市総務課文書係の皆様には、この場をお借りし、お礼申し上げます。

皆様からのお便りもお待ちしております。

(吉田 眞)



# I&IのFUJIFILM

イメージング インフォメーション

## オフィス業務を革新する、人にやさしいファイリングシステム

1分40枚(A4)の高速入力

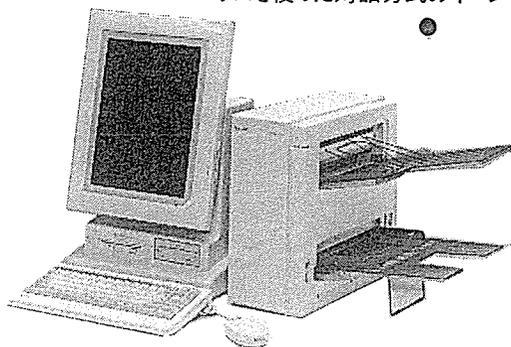
●  
机に置ける超コンパクト・デスクトップタイプ

ワープロ感覚であつかえる3.5インチMOディスク

縦横に90°回る高解像度ハイコントラスト液晶ディスプレイ

ペーパーファイルの感覚で使える3つのファイリングタイプ

マウスを使った対話方式のイージーオペレーション



171万円(標準装備)  
富士フィルム3.5インチMO  
光ファイリングシステム

# FUJIX D-file

富士写真フイルム株式会社 ■情報システム部 東京都港区西麻布2-26-30 〒106 TEL.(03)3406-2245

**文書管理通信**

No.3.1992. 6-7 (隔月発行)

発行日.....1992年7月1日

発行人.....渡辺秀博

発行所.....蠶工業複写センター

文書管理通信編集室

〒420 静岡市竜南2丁目11-43

アクト・オムビル

TEL (052) 248-4611

FAX (054) 248-4612

ちゅうせいざきょうし  
中性抄用紙(冷水抽出法 pH6.5~7.5) 使用